

集成材便覧

2025 年 11 月 26 日



「集成材便覧」の公開に当たって

このたび日本集成材工業協同組合では、メーカー別、工場別、樹種別に大断面集成材等のサイズ（材幅、材せい、長さ）、使用する接着剤、入手のしやすさ等をわかるようにしたデータを組合員11社が作成し、当組合ウェブサイトにおいて「**集成材便覧**」として公開することいたしました。

現在の大断面木造部材については、樹種、強度、断面サイズ等の選択肢が多く、木造建築物を設計するに当たって部材断面設定が難しくなっているため、特殊な断面となり、コストや納期が掛かる木造建築物が提案されていることがあります。

こうした中で日本建設業連合会（日建連）の木造・木質建築普及ワーキングチームの標準化・規格化サブWTより、その課題を解決する方法の一つとして、日集協の集成材メーカー各社から一般的に製造しやすい部材の仕様（一般製造）と、比較的コストは掛かるものの、ここまでなら製造可能といえる部材の仕様（対応可能）が開示されれば、効率的な断面を企画・設計段階で設定することが可能となり、中大規模木造建築の普及にも資することになるのではないかとのご提案をいただきました。

そこで当組合の構造部会大断面分科会では、日建連 木造／標準化・規格化サブWTと綿密に調整を行い、組合員毎の工場基本情報など含めた「**集成材便覧**」を作成することとなった次第です。

木質構造材料については、近年データ整備も進みつつありますが、これだけの詳細なものは本邦初公開であり、ご提案いただいた日建連の木造・木質建築普及ワーキングチームの皆様に敬意と謝意を表するとともに、公開する情報が必ずや中大規模木造建築推進の一助となることを確信しております。

2024年7月11日

日本集成材工業協同組合

掲載対象メーカーの拡大について

このたび、中小断面専門メーカーの要望も採り入れ、「集成材便覧」にこれらのメーカーが製造する構造用集成材の仕様についても掲載することといたしました。

「集成材便覧」のユーザーが一層拡大いたしますことを期待しております。

2025年9月1日
日本集成材工業協同組合

集成材便覧 目次

1. 「集成材便覧」のご利用に当たって

・一般的注意事項	i
・各シートの概要説明	ii
・「会社名_工場名_樹種名_一般製造／対応可能別シート」の詳細説明	iii

2. 大断面メーカー別データシート

・「会社名_連絡先等シート」	（※中小断面も掲載）
・「会社名_シートリスト」	
・「会社名_工場名_樹種名_一般製造／対応可能別シート」	

① 協同組合 オホーツクウッドピア	1
② 株式会社 キーテック	17
③ 藤寿産業株式会社	40
④ 江間忠ラムテック株式会社	64
⑤ ファーストウッド株式会社	75
⑥ 株式会社志田材木店	88
⑦ ラミネート・ラボ株式会社	106
⑧ 株式会社 中東	126
⑨ 斎藤木材工業株式会社	139
⑩ 片桐銘木工業株式会社	165
⑪ トリスミ集成材株式会社	181

⑫ 株式会社 櫻井	189
⑬ 銘建工業株式会社	211
⑭ 中国木材株式会社	233
⑮ 山佐木材株式会社	251

3. 中小断面メーカー別データシート

〔
・「会社名_連絡先等シート」
・「会社名_シートリスト」
・「会社名_工場名_樹種名_一般製造／対応可能別シート」
〕

① ティンバラム株式会社	274
② 株式会社 トチシュー	289

以上

「集成材便覧」のご利用に当たって

(一般的注意事項)

1. この「集成材便覧」は、日本集成材工業協同組合（日集協）事務局が、構造用集成材の製造を行っている組合員から提供された調査原票を編集したものです。
2. 大断面集成材及び中小断面集成材を製造している組合員並びに専ら中小断面集成材を製造している組合員に分けて掲載しています。
3. 「**会社名_工場名_樹種名_一般製造／対応可能別シート**」がこの「集成材便覧」の本体部分ですが、構造用集成材を製造している組合員の連絡先等が記載されている「**会社名_連絡先等シート**」に統いて、会社毎の「**会社名_工場名_樹種名_一般製造／対応可能別シート**」名を一覧表にした「**シートリスト**」を掲載しています。
 - ・「**会社名_連絡先等シート**」
 - ・「**会社名_シートリスト**」
 - ・「**会社名_工場名_樹種名_一般製造／対応可能別シート**」
4. 細心の注意を払って調査原票の作成・チェック等を行っておりますが、誤記等の場合も想定されます。記載された集成材の仕様等についてご不明な点がございましたら、日集協事務局、もしくは各大断面メーカーに直接お問い合わせください。
5. 価格情報については、この集成材便覧に掲載しておりません。また、日集協事務局も把握しておりません。価格については、大変お手数ですが、各メーカーに直接お問い合わせください。
6. 集成材の日本農林規格(JAS 1152)やJAS格付検査等の詳細については、(公財)日本合板検査会にお問い合わせください。

(各シートの概要説明)

「会社名_連絡先シート」

- ・会社名、工場名、連絡先（部署名、電話、メール）、所在地（都道府県／市町村）、湾曲材の可否、クリーンウッド法への対応、月産（m³）が掲載されております。なお、クリーンウッド法への対応、月産（m³）については、別冊の「用語解説」をご覧ください。

「会社名_シートリスト」

- ・次に説明する「会社名_工場名_樹種名_一般製造／対応可能別シート」の一覧表です。

「会社名_工場名_樹種名_一般製造／対応可能別シート」

- ・このシートに記載された構造用集成材の仕様は、当該工場が（公財）日本合板検査会よりJAS認証を取得しているものだけです。（JAS認証は会社別ではなく、工場別に与えています。）
- ・製品の仕様のシートを、会社別、工場別、樹種別、更には、一般製造／対応可能別に作成しております。

(「会社名_工場名_樹種名_一般製造／対応可能別シート」の詳細説明)

会社名: 日本集成材株式会社

工場名: 京橋第1工場

樹種 1)	スギ								
製造範囲 2)	一般製造		対応可能						
使用環境 3)	A、B、C								
接着剤 4)	たて継ぎ	レゾルシノール・フェノール樹脂							
	積層	レゾルシノール・フェノール樹脂							
	幅はぎ	-							
	二次接着	レゾルシノール・フェノール樹脂							
強度等級	対称	非対称	同一						
			4枚以上	3枚	2枚				
	<input type="checkbox"/> E170-F495	<input type="checkbox"/> E160-F480	<input type="checkbox"/> E190-F615	<input type="checkbox"/> E190-F555	<input type="checkbox"/> E180-F510				
	<input type="checkbox"/> E150-F435	<input type="checkbox"/> E140-F420	<input type="checkbox"/> E170-F540	<input type="checkbox"/> E170-F495	<input type="checkbox"/> E170-F450				
	<input type="checkbox"/> E135-F375	<input type="checkbox"/> E125-F360	<input type="checkbox"/> E150-F465	<input type="checkbox"/> E150-F435	<input type="checkbox"/> E150-F390				
	<input type="checkbox"/> E120-F330	<input type="checkbox"/> E110-F315	<input type="checkbox"/> E135-F405	<input type="checkbox"/> E135-F375	<input type="checkbox"/> E135-F345				
	<input type="checkbox"/> E105-F300	<input type="checkbox"/> E100-F285	<input type="checkbox"/> E120-F375	<input type="checkbox"/> E120-F330	<input type="checkbox"/> E120-F300				
	<input type="checkbox"/> E95-F270	<input type="checkbox"/> E90-F255	<input type="checkbox"/> E105-F345	<input type="checkbox"/> E105-F300	<input type="checkbox"/> E105-F285				
	<input type="checkbox"/> E85-F255	<input type="checkbox"/> E80-F240	<input type="checkbox"/> E95-F315	<input type="checkbox"/> E95-F285	<input type="checkbox"/> E95-F270				
	<input type="checkbox"/> E75-F240	<input type="checkbox"/> E70-F225	<input type="checkbox"/> E85-F300	<input type="checkbox"/> E85-F270	<input type="checkbox"/> E85-F255				
	<input checked="" type="checkbox"/> E65-F225	<input type="checkbox"/> E60-F210	<input type="checkbox"/> E75-F270	<input type="checkbox"/> E75-F255	<input type="checkbox"/> E75-F240				
	<input checked="" type="checkbox"/> E65-F220	<input type="checkbox"/> E60-F205	<input checked="" type="checkbox"/> E65-F255	<input type="checkbox"/> E65-F240	<input type="checkbox"/> E65-F225				
	<input checked="" type="checkbox"/> E55-F200	<input type="checkbox"/> E50-F170	<input checked="" type="checkbox"/> E55-F225	<input type="checkbox"/> E55-F225	<input type="checkbox"/> E55-F200				
材幅 (mm) 5)	240～1230(30mmきざみ)								
材せい (mm) 6)	120～1290(30mmきざみ)								
材長 (m) 7)	2.0～17.0(50mmきざみ)								
備考 8)									

1) 樹種

- ・樹種名は、集成材の日本農林規格(JAS1152) 4.3 構造用集成材に準拠しています。
(例) カラマツ、ベイマツ、スギ、サザンパイン、スプルース、オウシュウアカマツ、など (ホワイトウッド、レッドウッド等の通称は使用しておりません。)

2) 製造範囲

- ・一般製造

構造用集成材を製造するに当たって必要となるラミナを常時在庫している、あるいは在庫がなくても入手が容易である、サイズが一般的なものである等に該当する場合。

(原材料となる木材について産地指定 (例: ○○県産材) がある場合、「一般製造」の仕様の製品であっても、ラミナの調達に時間を要し、コストアップになる場合があります。また、指定された産地の木材から必要な強度のラミナが確保できず、製品製造がそもそも困難となる場合もございます。)

- ・対応可能

高強度のラミナを要する、大きな断面サイズ (材幅、材せい)・長さである、製造に

手間がかかる等に該当する場合。

当該工場における製造コストを比較した場合、「一般製造」<「対応可能」となっていると考えられますが、詳細は直接各メーカーにお問い合わせください。

3) 使用環境

・使用環境（A, B, C）は、使用する積層接着剤の種類により規定されています。（JAS上は使用環境Cのみの取扱いであっても、農林水産消費技術安全センター（FAMIC）が試験結果に基づいて認めれば、使用環境Bに使えるものがあります。）

4) 接着剤

・接着剤は、たて継ぎ用（長さ方向用）、積層方向用、幅はぎ用（幅方向用）、二次接着用の4種類に分かれています。（幅はぎ用と二次接着用を同時に使うことはありません。いずれも使わないか、いずれかを使うかです。）

5) 材幅

・材幅は住宅向けが一般に105mm、120mmとなっており、それを上回るものは30mmずつ増えて、105mm, 120mm, 150mm, 180mm, 210mmとなっております。通常、この210mmの材幅までは、1枚のラミナで対応できますので、次に説明する幅はぎ接着や二次接着は不要です。（工場によっては240mmまで幅はぎ、二次接着が不要というところもあります。）

・一方、材幅を増大させる手法として、1枚のラミナ同士を幅方向に接着する「幅はぎ接着」を行った上で積層接着するやり方と、ラミナを積層して一旦集成材を製造してから、その2つの集成材を幅方向に接着する「二次接着」があります。

・大断面メーカーは、幅はぎ接着のみ可能、二次接着のみ可能、両方とも対応可能という3タイプに分かれており、現状では二次接着のみ可能というところが最も多いです。

6) 材せい

・材せいについては、材幅同様、105mm, 120mm, 150mm, 180mm, 210mm...と通常30mm間隔で増えていきます。

7) 長さ

・長さは、通常2m以上で、その上は、長さの増加間隔が0.5mであったり、1.0mであったりと、大断面メーカーによって異なっています。

・材幅、材せいについて、上述したような値に合致している場合は「一般製造」、合致していない場合は「対応可能」となる場合があります。

8) 備考

・製造は可能であるものの、まとまった数量でなければ受注できないといった条件等がある場合は、備考欄に記載されております。湾曲材についても対応の可否が記載されている場合があります。

以上